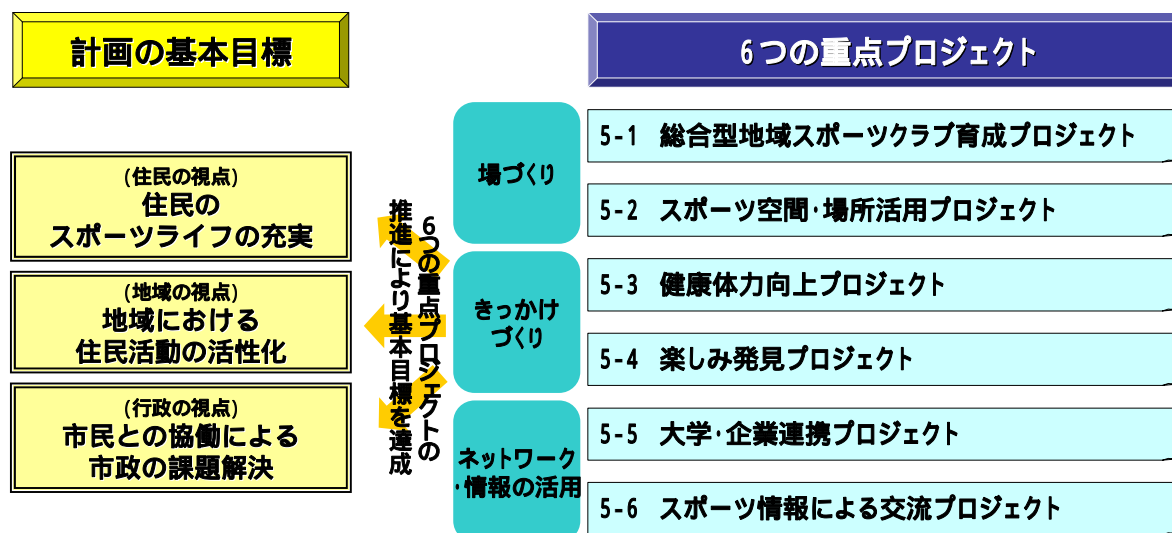


第5章 重点プロジェクト

重点プロジェクトとは、計画の基本目標を達成するために、スポーツに関わる施策を網羅した施策体系から、本市として重点的に取り組む施策として、市民に分かりやすく説明するためにまとめたものです。

本計画では、3つの基本目標を達成するため、6つの重点プロジェクトを掲げます。まず、市民スポーツ活動の「場作り」を促進するため「1．総合型地域スポーツクラブ育成プロジェクト」、「2．スポーツ空間・場所活用プロジェクト」を展開します。次に、健康体力の維持・向上やスポーツの楽しみを体験のする「きっかけづくり」を図るため、「3．健康体力向上プロジェクト」、「4．楽しみ発見プロジェクト」を推進します。さらに、地域の「ネットワーク・情報の活用」を進めるため、「5．大学連携プロジェクト」、「6．スポーツ情報による交流プロジェクト」を実施します。

図表 5 - 1 : 重点プロジェクトの位置づけ



5 - 1 . 総合型地域スポーツクラブ育成プロジェクト

(1) 目的

総合型地域スポーツクラブを地域の拠点として位置づけ、本市に関わる全ての人々に対して、スポーツ実施率やスポーツ活動に対する満足度の向上を図るとともに、地域住民の交流、地域人材の育成、地域の安全力・教育力の向上など促進していくことを目的とします。また、将来的には、「総合型地域スポーツクラブ」が、スポーツの枠を超えて、「総合型地域クラブ」に発展していくことが望まれます。

(2) 内容

クラブの運営を担うクラブマネージャーやクラブコーディネーターなどのスタッフを育成し、総合型地域スポーツクラブを新たに設立するための体制整備や既存のスポーツクラブ・団体との交流を促進します。また、体育協会や地域の各種団体、地元メディアとの連携やイベントの開催を通じて、総合型地域スポーツクラブ自体の広報を推進していきます。

(3) 具体的な施策

クラブ運営スタッフの育成

クラブマネージャー養成講座の開設、クラブコーディネーター研修会への派遣や開催、体育協会や体育指導委員との連携などを通じて、総合型地域スポーツクラブの運営に関わるスタッフの育成を図ります。

総合型地域スポーツクラブの設立

地域性を考慮し、ニーズに応じた場所に、総合型地域スポーツクラブ設立準備検討委員会を設置することで、クラブ設立のための体制・基盤づくりを図ります。

総合型地域スポーツクラブと既存クラブとの連携促進

新しくできた総合型地域スポーツクラブと既存のスポーツ団体との合同練習会、合同イベントなどの開催支援や指導者交流会の促進、地域内でのリーグ戦の開催などを推進していきます。

総合型地域スポーツクラブの広報

体育協会や体育指導委員、地域の各種団体との総合型地域スポーツクラブの支援ネットワークの構築、総合型地域スポーツクラブの普及イベントの開催や総合型地域スポーツクラブ自体の知名度の向上のためのパンフレット発行などを通じて、総合型地域スポーツクラブの広報を推進します。

5 - 2 スポーツ空間・場所活用プロジェクト

(1) 目的

公共スポーツ施設の整備・充実を図るとともに、市内の利用可能な空間・場所をスポーツ活動の場として有効に活用し、市民のスポーツの場を幅広く確保することで、スポーツ参加を促進し、スポーツ実施率の向上と、スポーツ活動やスポーツ施設に対する満足度の向上を促すことを目的とします。

(2) 内容

利用者の実態、市民のニーズなどの情報を収集・整理し、現状やニーズに応じて、公共スポーツ施設の利便性を高めるとともに、管理運営体制を充実させることによって、効果的・効率的な施設運営を目指します。また、身近な空間や場所をスポーツ活動の場として利用することを検討するとともに、地域におけるスポーツを通じた子どもの居場所づくりなどの検討をおこないます。

(3) 具体的な施策

公共スポーツ施設の改善に向けた情報収集

既存施設利用データの整理、アンケートやヒアリングなどを通じた利用者実態調査をおこなうことで、利用者層、利用頻度、利用時間などを明らかにし、より多くの市民に効率よく利用してもらうための事業展開につなげ、将来的には、自律的な評価・改善の仕組みの確立を検討します。また、既存の市ホームページにある Web アンケートシステムや公共施設にある相談窓口などを活用し、利用者のニーズを把握します。

公共スポーツ施設の管理運営体制の充実

平成 18 年度に導入される指定管理者制度を有効に活用するための体制の整備を図ります。また、平成 20 年 4 月以降には、一般公募による指定管理者が施設管理運営を実施する予定であることを十分に考慮した上で、公共スポーツ施設の管理運営体制の整備を推進します。

身近な空間・場所の有効活用

既存の道路に距離や安全性を配慮したウォーキングコースを設定したり、公共施設の空いたスペースを利用することなどを検討し、利用可能な空間を、身体を動かす場所の充実を検討します。

子どもの居場所づくりの検討

公共施設や空間・広場などに、子どものためのスポーツ指導者の派遣やスポーツに関連するプログラムの提供などを体系的におこなうことにより、子どもがスポーツを楽しめる場を増やしていきます。

5 - 3 . 健康体力向上プロジェクト

(1) 目的

市民の誰もが、いつまでも健やかで活気あふれる生活を過ごせるために、スポーツを通じた健康・体力向上に関するプログラム提供や教室を開催し、市民のスポーツ実施率の向上や基礎体力の維持・向上、健康に対する意識の向上を図るとともに、スポーツを通じた市民の健康ライフを確立することを目的とします。

(2) 内容

個人のライフスタイルや体力に対応した健康増進プログラムの開発・充実の検討、および既存関連プログラムの普及促進をおこないます。また、親子や家族で気軽にスポーツや運動ができるための機会を創出したり、健康に対する意識の向上を推進します。

(3) 具体的な施策

ライフステージ別プログラムの開発の検討、普及

子ども、成人、高齢者など、個々のライフステージに応じた健康プログラムの開発の検討および普及を促進します。

スポーツによる介護予防の推進

高齢者向けのスポーツを通じた介護予防を推進するため、高齢者向けの運動・体操プログラムの提供、高齢者向け体力テストなどを実施します。

スポーツによる成人のための健康増進

成人向けのスポーツを通じた健康増進のため、運動健康教室や運動健康相談サービス、運動体力テストなど企画・開催を推進します。

親子・家族でおこなう体力づくりの促進

親子・家族でおこなう体力づくりを促進するため、親子・家族スポーツデーの設置、親子・家族でできる基礎体力づくりのための教室開催、子育て中の親と乳幼児向け運動などのスポーツプログラムの提供をおこないます。

5 - 4 . 楽しみ発見プロジェクト

(1) 目的

スポーツを始めるきっかけを求めている人やこれまでおこなわれてきたスポーツイベントには興味を失っている人などに対して、気軽に参加できるスポーツの機会を提供し、スポーツの楽しさや良さを体感してもらうことで、する、みる、ささえるスポーツへの継続的な参画を促進することを目的とします。特に、これまでスポーツ活動を実施していなかった人、もしくは、活動頻度が低かった人々のスポーツ実施率や満足度の向上を促進することが大きな狙いです。

(2) 内容

スポーツ未経験者やスポーツをほとんどやっていない人たちに対して適切な指導をおこなえる指導者の育成や、スポーツ未経験者層が持つ、技術面、身体能力面、精神面などの障害を低くしたスポーツプログラムの提供・イベントの企画運営をおこないます。また、みるスポーツ、ささえるスポーツに関する情報提供やきっかけづくりを推進します。いずれの施策においても体育協会、体育指導員などとの連携を深め、サービスの向上を図ります。

(3) 具体的な施策

生涯スポーツ指導者の育成

体育協会、体育指導員などとの連携を図りながら、誰もが気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツの推進ため、乳幼児、高齢者、障がい者専任スポーツ指導者などライフステージや競技レベルに応じた指導者育成研修会や、ニュースポーツ・軽運動などの指導者の育成研修会の派遣や開催を実施します。

気軽に参加できるスポーツイベントの企画・開催

スポーツへの参画を促進するため、体育協会、体育指導員などとの連携を図りながら、誰もが親しみやすい初心者向けスポーツイベント、ニュースポーツイベントの企画・開催をおこなうと同時に、西東京市スポーツデーの設定などをおこないます。

スポーツ観戦の推進

トップアスリートのパフォーマンスを肌で実感したり、楽しんだりするために、市内外でのプロスポーツなどの観戦ツアーの企画を検討します。体育協会、体育指導員などとの連携を図りながら、各スポーツの観戦の楽しみ方のアドバイスの提供なども検討していきます。

スポーツボランティアの人材の確保育成

スポーツボランティアの人材の確保育成するため、体育協会、体育指導員などとの連携を図りながら、スポーツボランティアバンクの設立、スポーツボランティア講習会の派遣および開催、東京（多摩）国体に向けたボランティアの確保・育成などを進めていきます。

5 - 5 . 大学・企業連携プロジェクト

(1) 目的

市内の大学、企業、民間のスポーツクラブ、市民、行政とが、それぞれの施設や人材など強みを活かしながら連携することで、スポーツ施設・設備の共同利用の促進、指導者・運営スタッフの交流を通じた育成、市民のスポーツに対する満足度の向上など、全者が互いにメリットを享受できる環境を整備するとともに、地元意識の醸成や地域ブランドの創出を図ることを目的とします。

(2) 内容

市内の大学、企業、民間のスポーツクラブなどが有するスポーツ施設・設備の共同活用の促進、指導者・運営スタッフの育成、地域との交流などを促進するとともに、大学・企業と市民とのネットワークを拡大し、且つ、深めるとともに、それぞれのメリットデメリットを調整しながら、連携を図ります。

(3) 具体的な施策

大学施設利用の検討

武蔵野大学との連携のもとにおこなわれている市民の大学施設利用を促進するとともに、他の大学の施設についても、市民の利用に向けて調整・連携を検討します。

企業・民間スポーツ施設の利用促進

企業や民間スポーツクラブが保有するスポーツ施設を市民が利用できるように調整をおこない、市と企業の合同イベントの開催を検討するほか、民間フィットネスクラブやスポーツクラブの施設を利用して、市がスポーツ教室などを開催します。

大学・企業人材との連携

市内のスポーツ指導者のための環境の向上を図るため、市内大学との連携による指導者派遣制度の導入の検討、企業、民間スポーツクラブとの連携による指導者派遣制度の導入の検討等を行います。

スポーツ指導者交流の活性化

市内の一貫指導体制を整備するため、市内大学のスポーツ指導者と部活動・既存クラブの指導者、体育協会、体育指導委員との交流促進によるノウハウ・情報共有、各年代スポーツ指導者意見交換会の開催、スポーツ指導者相互派遣制度などの検討をおこないます。

5 - 6 . スポーツ情報による交流プロジェクト

(1) 目的

スポーツは、介護予防、子どもの居場所づくり、健康増進など、さまざまな役割を期待されています。それにともない、スポーツに関する情報は、体育協会、財団法人西東京市文化・スポーツ振興財団、各福祉センターや各担当課などに分散してしまっているのが現状です。それらの情報の一元化することで効果的な情報配信をおこなうとともに、多様なニーズに合った情報提供の仕組みを確立することで、市民のスポーツ参加を促進することを目的としています。

また、一方的な情報発信だけではなく、スポーツに関する需要と供給をマッチングさせる仕組みを確立することで、スポーツを通じた市民交流の活性化を図るほか、市民のニーズを継続的に把握し、常にスポーツ環境を改善していくための仕組みをつくることを目的としています。

(2) 内容

現在、分散しているスポーツに関する情報を一元化し、効果的に情報を提供するほか、体育協会、体育指導委員や地域の各種団体、地元メディアとの連携やメールマガジンの発行によって、市民の多様なニーズに合わせた情報配信の検討をおこないます。また、自律的にスポーツ環境を評価・改善するために、Web アンケート、公共スポーツ施設利用者の実態調査などにより、継続的に、市民のスポーツに関するニーズを把握します。

(3) 具体的な施策

スポーツ関連情報の一元化

体育協会や各担当課、スポーツセンターなどとの連携を図り、分散しているスポーツ関連情報の一元化を図ります。また、その仕組みとして、生涯学習情報システムとの連携を検討します。

多様なニーズに合わせたスポーツ情報の提供

市のホームページのスポーツに関する情報を充実させるとともに、メールマガジンの発行などにより、市民個々のニーズに応じた情報提供を検討します。また、体育協会、体育指導委員、地域の各種団体、地元メディアなどとの連携により、さまざまなスポーツ情報の発信を図ります。

スポーツによる市民の交流促進

既存の地域のイベントや電子会議室などのさまざまな情報媒体を利用し、スポーツをテーマに情報交換することによって、市民の交流を促進し、コミュニティの形成を促します。

継続的なスポーツニーズの把握

継続的に市民のスポーツニーズを把握するために、Web アンケートシステムの利用などを検討します。また、スポーツ、健康、介護予防など、スポーツに関する市民のさまざまな相談に迅速に対応するため、各担当課の連携強化を検討します。